

第74回卒業式挙行！

学校だより

和

第 34 号
三 和 中 学 校
発行 與島 康仁



第74期生 66名の巣立ち



送辞

在校生代表 山城力也

通いなれた学び舎にあたたかな春の日差しが降りそそぎ、木々の若葉や花々も光り輝く今日のこの良き日に、三和中学校を卒業なさる先輩方。ご卒業おめでとうございます

先輩がたは私たちの憧れであり、目標でもありました。多くのことを学ばせていただいた先輩方が今日、卒業を迎えると思うと、寂しさがこみあげてきます。

先輩方は、これまで三和中学校のリーダーとして、学校行事や生徒会活動で私たち後輩を引っ張ってきてくださいました。

十月、快晴の中行うことができた二年ぶりの体育祭。新型コロナウイルスの影響で延期が続きましたが、規模も縮小された体育祭でしたが、先輩方が先頭に立って盛り上げてくださいました。

特に学級対抗リレーでは、下級生である私たち一・二年生にも大きな声援を送ってください、多くの生徒が盛り上がり、楽しく競技に取り組むことができました。

十一月、初めての三線発表会。各クラス全員が協力し合い、一生懸命練習し、その成果を発揮することができました。本番では、先輩方はとてもきれいな音を奏で、また、自らも楽しむ姿で会場をわかれました。そのおかげで、素晴らしい発表会になりました。

生徒会活動でも、先輩方一人一人が積極的に取り組み、意見を出し、よりよい生徒会活動ができました。

特に今年度は「字生徒会」が発足し、これまで執行部を中心に行っていた地域清掃を、各字生徒会を中心に地域で展開しました。そしてやはり先頭には、誰よりも率先して行動し声をかけてくださる先輩方の背中がありました。

行事や生徒会活動以外にも、様々な場面で先輩方後輩の私たちを引っ張ってくださいました。

その一つが部活動です。私は野球部に所属しています。私が一番心に残っているのは、夏季大会での大里中との一戦です。

試合は接戦で、両チームとも一点も譲らないまま延長戦になりました。

先輩方は最後まであきらめず、必死に声掛けをしていました。結果は負けてしまいました。したが、試合後、先輩方はすぐに気持ちを切り替えて、「次はお前たちの番だから頑張れ」と明るく声をかけてくださいました。その声掛けで、私も気持ちよくチームを引き継ぐことができました。私はこの時、終わったことをいつまでも引きずることなく、次に進もうとする事の明るさと前向きさを教えてもらいました。

これから、先輩方はそれぞれの道を歩みだされます。いつも私たちを明るく前向きに引っ張って下さった先輩方と一緒にいられることに心もとなさを感じます。ですが、学校生活や生徒会活動、部活動で先輩方から学んだその姿勢を、在校生の私たちがしっかりと受け継ぎ、より一層素晴らしい三和中学校を作り上げていきます。

先輩方、これから先、いろいろな困難に直面することもあると思います。その時は三和中学校で過ごした三年間を思い出してください。その明るさと前向きさで、私たち後輩を引っ張ってこられた先輩

方ならきっと乗り越えられることを信じています。どうか、それぞれの夢に向かい全力で前進してください。

これまで本当にありがとうございました。最後に、卒業生の皆様のご健康とご活躍をお祈りし、送辞といたします。

令和四年 三月十二日

